

競技・審判上の注意

① 試合会場の割り当て

<第一会場> 真岡市総合体育館・・・男女 A・B・C クラス

<第二会場> 武道体育館（2F）・・・男女 D クラス、各クラス交流戦

※交流戦は、原則、第二会場で行いますが、進行状況によっては会場を変更する可能性もあります。

② マッチ及びインターバル（試合の進行状況によっては、変更する場合があります。）

■本戦

21 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 21 点打ち切りです。

i) ゲーム中のインターバルは設けません。水分補給については、その都度、主審に申し出て許可を取って下さい。

ii) ファイナルゲームは、11 点でチェンジエンドの際、60 秒を超えないインターバルを認める。

iii) ゲームとゲームの間は 1 分間のインターバルを設けます。

iv) サイドコーチのアドバイスは、ゲームとゲームの間のインターバル、もしくは水分補給のときのみ認めます。

準々決勝より正式ポイント（21 点 3 ゲームマッチ）で行います。延長あり、30 点まで。

※ただし、男女とも D クラスについては、全試合 15 点 3 ゲームマッチ（延長あり、21 点まで）とします。ファイナルゲームは、8 点でチェンジエンドです。

■交流戦

全クラス、15 点 3 ゲームマッチとします。延長なし 15 点打ち切りです。

③ 交流戦

交流戦は、1 回目の試合で負けた選手すべてを対象として実施します。例えば、初戦が不戦勝で、2 試合目で負けた場合も対象となります。辞退の申し出がない限り、本部では組合せ作業を進めていきます。

大会当日の交流戦辞退については、LINE オープンチャット「第 15 回マロニエ OP 連絡用」を利用して申し出て下さい。辞退する選手の「チーム名・クラス・氏名」を入力して送信して下さい。

④ 審判

■本戦

主審は、大会本部が担当します。線審は、次にそのコートで試合をする選手（又は父兄）が行って下さい。得点板は、敗者が残って、次の試合を担当して下さい。

※選手が 3 年生以下の場合は、父兄か高学年の選手が代わりに線審をお願いいたします。

■交流戦

相互審判とします。対戦チームから 1 名ずつ出して、主審（線審を兼ねる）と線審（得点板を兼ねる）をコートの対角に配置して試合を行って下さい。

⑤ 進行

タイムテーブルのコート番号にとらわれず、流し込み方式で行いますので試合のコールにご注意下さい。

第一、第二会場それぞれの本部席付近に「選手集合場所」を設けます。試合番号がコールされたら、そちらにお集まり下さい。試合の順番がきたら、審判用紙を選手に渡しますので、対戦相手と共に指定されたコートまで移動して下さい。前の試合が終わったら、審判用紙を主審に渡して、試合を始めてください。

初戦に限り、試合前に 2 分間の練習時間を設けます。主審の指示に従い、対戦者同士で練習をして下さい。シャトルについては、選手が用意して下さい。

感染予防対策として、試合開始時と終了時の握手、および勝者サインは省略します。試合終了後、勝者は主審から審判用紙を受け取り、直ちに本部まで持って来て下さい。

⑥ 表彰

各クラスの準決勝及び決勝終了後に随時行います。閉会式は行いません。優勝・準優勝・3 位までは賞状と賞品、メダル

を授与します。(3 位決定戦は行いません。)

※今回、メダルについては、後日配送にてお届けします。当日は、賞状と賞品のみ授与します。

⑦ その他

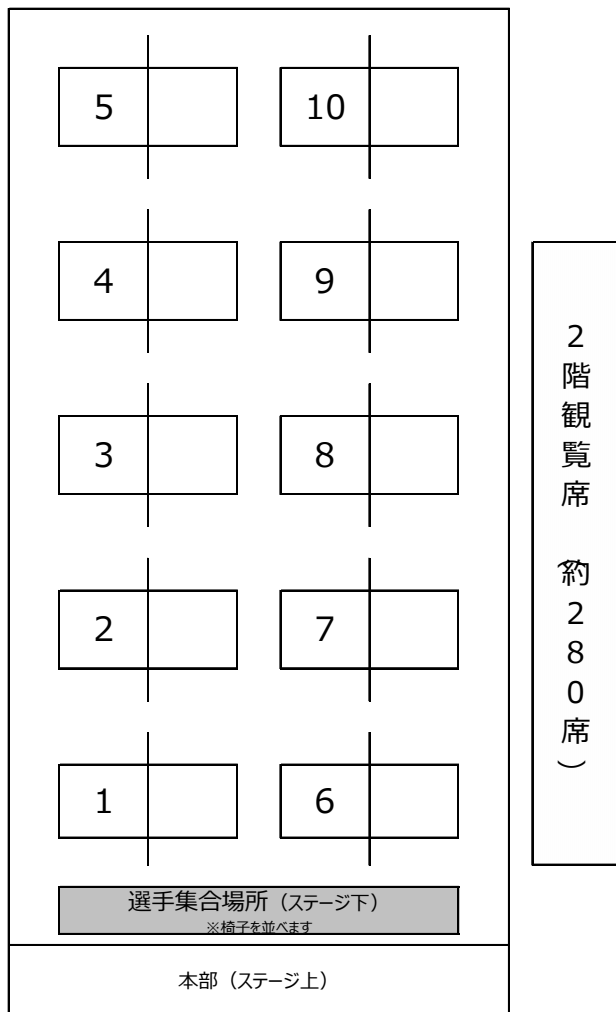
コーチ席は、エンドラインに 1 席ずつ設けます。

感染予防対策のため、タオルや飲み物ボトルを床に直接置かないようにして下さい。コートサイドに各自バッグなどを持参して、それに入れて下さい。

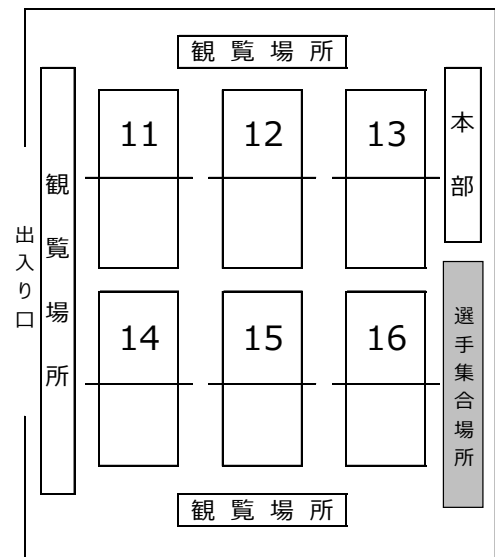
マロニエオープンにおけるケガなどを保障する団体傷害保険に加入しております。大会中にケガをした場合は、お申し出下さい。

⑧ 会場図 感染予防対策として、都県ごとに観客席スペースを割り当てます。割り当てについては、別途お知らせいたします。

【真岡市総合体育館（第一会場）】



【武道体育館（第二会場）】



以上